



平成 17 年 6 月 24 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ティムコ
代表者名 代表取締役社長 霜田俊憲
(JASDAQ・コード番号 7 5 0 1)
<問合せ先>
常務取締役管理部長 中 山 芳 忠
電 話 0 3 - 5 6 0 0 - 0 1 2 2

平成 17 年 11 月期中間（単独）業績予想との差異 及び通期（単独）業績予想の修正に関するお知らせ

平成17年11月期(平成16年12月1日～平成17年11月30日)の業績予想について、平成17年1月25日付当社「平成16年11月期 決算短信（非連結）」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成 17 年 11 月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期（平成 16 年 12 月 1 日～平成 17 年 5 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	1,822	186	76
今回修正 (B)	1,637	155	79
増 減 額 (B－A)	△ 185	△ 31	3
増 減 率	△ 10.2%	△ 16.7%	3.9%

(2) 修正理由

当社の属するアウトドア関連業界は、昨夏以降の猛暑ならびに記録的な台風の襲来に引き続き、昨年 12 月には記録的な暖冬により、市場は大きく低迷いたしました。さらに、年明けには一転して全国的に降雪が多くなり、春季終盤にいたるまで残雪が多い状態となりました。このような著しい気象の変化は、アウトドア関連産業の消費低迷を助長する結果となり、当社の業績にも悪影響を及ぼしています。

特に、フィッシング用品に関しては、折からの消費低迷に加え、残雪や春先の気温の低下が釣りシーズン開始の遅れを招き、極めて厳しい状況に見舞われました。

当社においても、釣りシーズン開始の遅れによる商品投入時期の遅れ等が発生し、営業活動

は概して苦戦をいたしました。これらの要因により、当中間期の売上高は、当初の予想を 10.2 ポイント下回る 16 億 37 百万円となる見込みであります。利益面につきましては、保険満期返戻金や投資事業組合分配金等の営業外収益の増加があるものの、経常利益は売上高の減少に連動して減少し、当初の予想を 16.7 ポイント下回る 1 億 55 百万円となる見込みです。

一方、当期純利益は当初見込んでいた店舗退店費用が無くなったことから当初の予想を 3.9 ポイント上回り 79 百万円となる見込みであります。

(3) 通期（平成 16 年 12 月 1 日～平成 17 年 11 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想（A）	3,154	173	71
今回修正（B）	2,937	158	79
増 減 額（B－A）	△ 217	△ 15	8
増 減 率	△ 6.9%	△ 8.7%	11.3%

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期） 23 円 69 銭

(4) 修正の理由

当中間期の業績予想の売上高及び経常利益の下方修正に連動し、通期の売上高は当初の予想よりも 6.9 ポイント低下し 29 億 37 百万円、経常利益は当初の予想よりも 8.7 ポイント低下し 1 億 58 百万円、当期純利益は当初の予想よりも 11.3 ポイント上回り 79 百万円となる見込みであります。

(5) ご参考：前期の実績（平成 15 年 12 月 1 日～平成 16 年 11 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
中間期（12／1～5／31）	1,793	156	83
通 期（12／1～11／30）	3,115	172	84

以 上